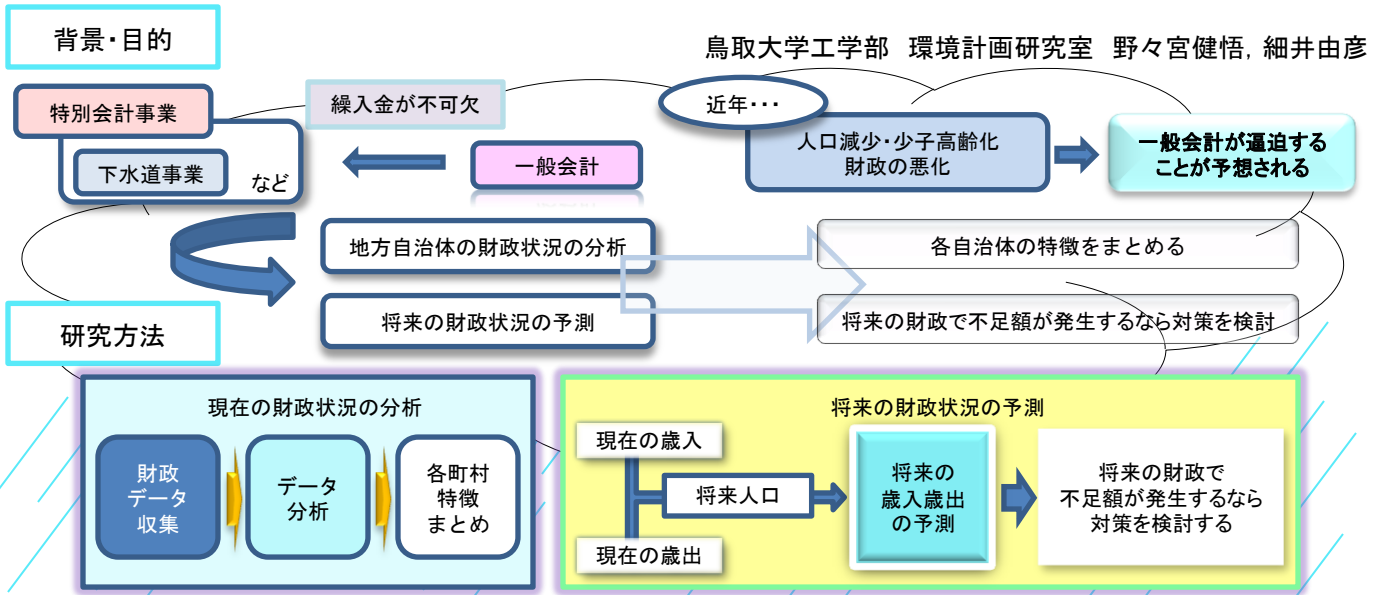


# 鳥取県下町村の財政状況と将来予測

鳥取大学工学部 環境計画研究室 野々宮健悟, 細井由彦



**研究結果**

目的別歳出の H19, H20年度 款, 項, 目のデータ

人口一人当たり

財政力を表す指数

将来予測

**財政状況**

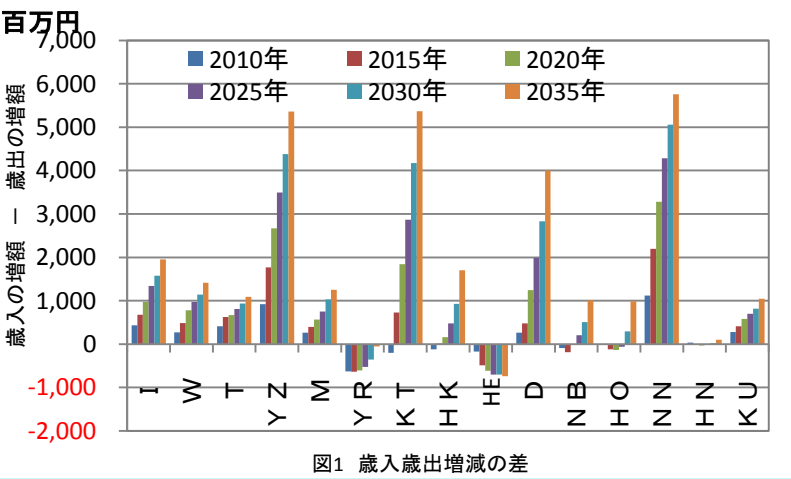
県内の標準的 歳出割合 から見た 削減可能性

表1 各町村特徴一覧

財政状況	
HE	財政力指数は良い値を示す 一般管理費が比較的高い
KU	高齢者福祉や農林業費が高い 全体的に人口の分布から高い支出
HN	町民の健康に係わる支出が高い 土木管理費が比較的高い
W	道路や道の駅などに多く支出 観光に対する支出が高い
NN	農林業費への支出がかなり高い 公債費への依存も高めている
M	商工費が高く、観光に多く支出 総務費が低くなっている
T	病院への支出により衛生費が高い 下水道への繰り出しが非常に少ない
NB	小学校の管理費が高くなっている 総務費が高くなっている
HO	保健体育費がやや高い 県内において支出構造が標準的
I	住まいへの支出が高い 学校給食費が高くなっている
HK	土木費の90%が下水道費 歳出総額が低い
YR	情報化への支出が高い 保健体育費は低くなっている
D	農業や観光に係わる支出が 比較的高額となっている
YZ	農業集落排水費が高い
KT	農業と住居に対する支出が高い 総務費が低くなっている

表2 各歳出項目削減可能性

	HE	KU	HN	W	NN	M	T	NB	HO	I	HK	YR	D	YZ	KT
議会費	18%	12%				5%					3%		5%	2%	8%
総務費	45%	1%	21%		3%			25%	18%		6%	5%	13%		
民生費	28%		35%		37%	0%	1%			13%			8%	5%	
衛生費		38%	69%	19%	60%				20%	5%			16%	6%	
農林水産業費		14%			17%								71%	64%	18%
土木費				22%	2%						7%	36%			5%
消防費		1%	3%	24%		22%	7%						10%	2%	1%
教育費		7%		11%	1%		37%	19%	2%	25%			5%	1%	4%



HE	将来の資金不足が継続して増加する。 総務費と民生費の9%削減で不足は補える。
HN	将来一時的に資金不足が発生する。 総務費2%の削減により補える。
NB	将来一時的に資金不足が発生する。 教育費4%の削減により補える。
HO	将来一時的に資金不足が発生する。 総務費2%の削減により補える。
HK	将来一時的に資金不足が発生する。 総務費2%の削減により補える。
YR	将来に渡り資金不足が継続して発生する。 その額は減少していき、総務費5%で補える。
KT	将来一時的に資金不足が発生する。 教育費2%と土木費3%の削減により補える。

**まとめ** 鳥取県下15町村では現在の財政構造で、一部削減が必要だが、予算内で財政を行っていくことが出来る